

# 診断京都

No.71



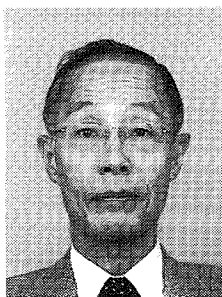
(題字 品川前支部長筆)

2002年 秋季号

社団法人 中小企業診断協会京都支部

## 積極的な提案をしよう

京都支部長 安田 徹



行政改革の中で、公益法人のあり方が検討され、診断協会・診断士制度が「引き続き検討」されています。そのため、診断協会としても、広く一般に診断士への認識を深め、制度の安定と定着を図ろうと「中小企業診断士制度の活用アクションプログラム」と名付けてアピールする活動を展開しています。

これは、私が掲げている「診断士の地位の向上」と共通するものです。つまり診断士が様々な場面で活躍し高い評価を受け、プロ集団として広く社会で認知・認識されて実現されるものです。しかし現実には、診断士制度が発足して半世紀近くの今でも、まだまだ診断士への認識は低く、バリバリ活躍している診断士は極めて少ないのが現実です。

現在の混沌とした経済情勢のなかで、企業・行政・団体等では、様々な方策を打ってきましたが未だ出口が見つからず、手詰まり状態になっています。

こんな時にこそ診断士は活躍しなければなりませんし、そのチャンスであると思います。本部から云われているからプログラムを消化するのではなく、地元京都の経済のためにも、もっている能力をフルに発揮して活躍し、もって診断士の地位の向上も実現しましょう。私たち診断士は、様々な能力を持った異能プロ集団です。個々の診断士が力を発揮することも大切ですが、その組合せによって色々な事業の展開も考えられるし、また行政や団体にも提案ができると思います。それはアイデア次第です。例えば、パソコンを使った経営研修シリーズは好評です。社会福祉法人向けの第1回セミナーも4人が担当し、今後ともニーズに合った講師を派遣して行こうと企画しています。その他にも現在交渉中の事業がいくつかあります。幹部だけが動くのではなく、会員の皆さんが積極的に企画を考えて提案してください。経営のプロ集団として中小企業診断士の存在を高めるため皆さんのアイデアをお待ちしています。企業内の診断士向けの企画も着々と準備が進んでいます。ご期待下さい。

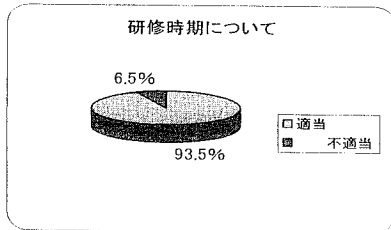
### 当支部会員の坂田岳史さんが協会賞を受賞

11月12日、アルカイダ市ケ谷で行われた中小企業診断協会主催の「中小企業診断シンポジウム」で、京都支部の坂田岳史氏が中小企業診断協会賞を受賞されました。テーマは「IT化プロセスについて」(大阪支部の市村保雄氏と共同)でした。

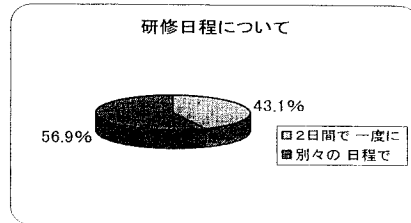
## 研修会アンケートから

京都支部の平成14年度更新研修会は8月から10月にかけて開き、好評裏に無事終了しました。席上実施しました受講者アンケートのまとめの一部を報告します。ご協力ありがとうございました。実務能力更新研修は9月7、8の両日、ハートピア京都で開催しました。68人の会員が受講。時期、研修方法、研修内容ともに、参加者の過半数の支持をえました。

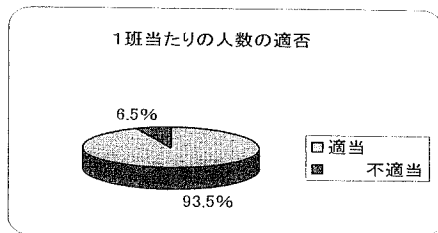
### 1. 研修時期について



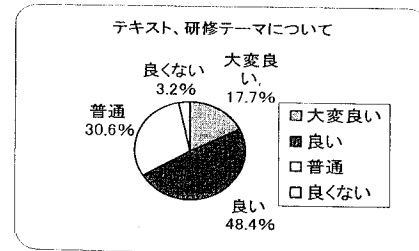
### 2. 理論及び実務研修を両方受講する場合



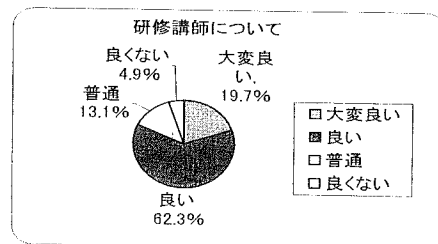
### 3.1 班当たりの人数について



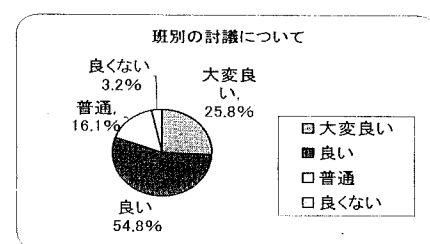
### 4. テキスト・研修テーマについて



### 5. 研修講師について



### 6. 班別の討議について



## 実務能力研修を振り返って

京都支部会員 中小企業診断士 西 河 豊

9月の7日・8日、「ハートピア京都」で実務能力研修のアドバイザーを担当いたしました。今回は「中小製造業の新営業展開」というテーマでのケース・スタディでした。

診断対象  
企業の業容  
(製造業)      ⇒⇒⇒⇒

- 売り上げ約3億
- 従業員約30人
- 下請企業
- 売り上げ低下に悩んでいる
- 新たな営業展開を模索している
- 2代目への継承に悩んでいる
- 高齢従業員の対策に悩んでいる
- 今のままの組織体系ではだめだと思っている

について診断・助言の演習を行いました。

研修の最終目的を「診断・助言する診断士役」と、「悩んでいる会社側の社長・専務役」を班をクロスさせてロールプレイングを行い、診断士の診断・助言能力を得点化して競うというゲーム性の高いものにしたため緊迫感のあるものになったと思います。(これは、ともにアドバイザーを担当した松野先生のアイデアでした。)

演習では「ロールプレイングを繰り返す班」あり、「理論的につめていく班」ありで、さまざまでした。

最終日午後のロールプレイング大会では、継続的なシステム改善を依頼する会社側に対して、「そこは継続指導(顧問契約)で・・・」とうまく逃げる班あり、従業員名を「黒崎さん」「品川さん」「安田さん」と代々の支部長名でやり取りする心の余裕のある個人スキルの高いやり取りもあり、「笑い」もある、有意義な研修となったと思います。

理論政策更新研修は8月4日と10月20日の2回に分けて、いずれもキャンパスプラザ京都で開き、延べ193人が受講しました。

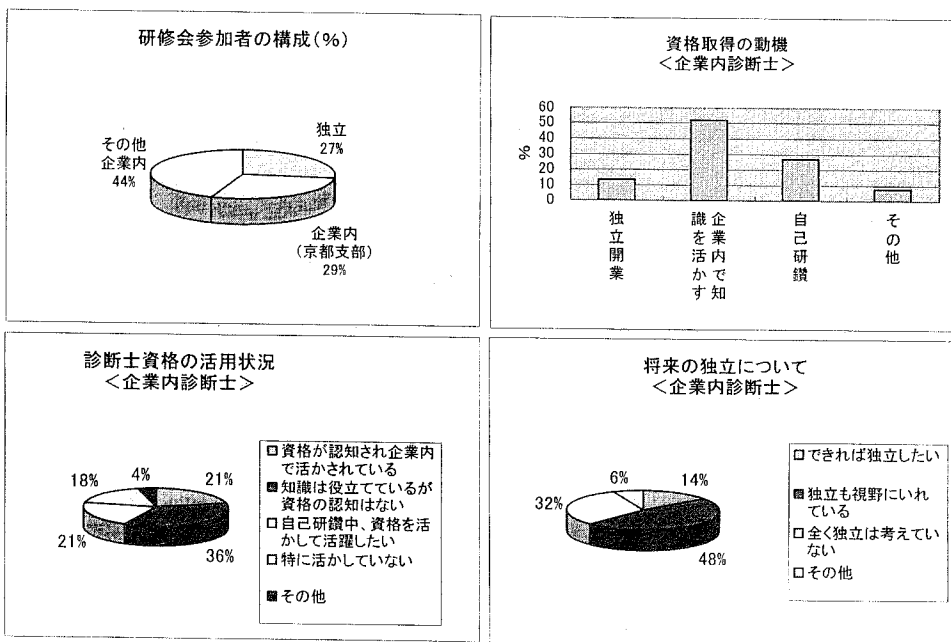
本部が実施したアンケート調査の結果は

①開催時期 = 適当 94.6% 不適当 5.4% ②研修テキスト = 良い 54.0% 普通 42.1% ③講師 = 大変良い 26.3% 良い 47.5% 普通 25.0% でした。

同時に記入願った京都支部独自の調査のうち、企業内診断士の“声”は下記の通りです。



## 支部アンケート



## 1 周遅れのランナー

京都支部会員 森 秀 人

9月30日は上場企業の中間決算の集中日でもあり、仕事柄、パソコンの画面が、「ワード」と日経平均株価を往き来しているところです。

当の日経平均株価はと言うと、期待むなしく、今も低空飛行が続いています。

今日、明日の心配だけでなく長期的な相場のトレンドを見ても、日本は言うに及ばず、米国 NASDAQ、イギリス FT、ドイツ DAX、フランス CAC のいずれもが安値を更新しており 1929 年世界恐慌を髣髴させる状況です。

我々は、「高成長」、「インフレ」、「財政支出の増加」、「銀行貸出の増加」と言った幸せな時代の転換点に立っているのかも判りません。

米国のバブルが崩壊し(でないと言う意見もあるが)、今後、世界的なデフレ、低金利、低成長時代に入るとすれば、「1周遅れのランナー」と言われ、バブル崩壊後十年余りグローバル・スタンダードを目指し、構造改革、リストラに努力してきた日本は「1周遅れのランナー」ではなく、実は、これからの長期的なデフレ、低金利、低成長時代の「トップランナー」であったのかも判りません。

先日、久々に書店でコトラーの「マーケティング・マネージメント」を手に入れました。

版は、1967年の初版以来10版を重ね10周目に入っていました。診断士の受験時代に勉強した6周目の第6版に比べると、「分厚くなった」、「縦書きから横書きになった」、「カラーグラビアのページが挿入された」、「値段が倍以上になった」他、内容も大きく進化していました。

このテキストはマーケティングの「古典」として仕事でも活用して来ましたが、私は延々と6周目を走っていたわけです。

診断士としても、1周遅れのランナーにならないよう心がけたいものです。

(^ ^ ♪ (^\_^)(#^.#)!(^ ^)!(-\_-);(>\_<)

## Chat de Chat

“ソーシャルインクルージョン”という言葉が、いま福祉関係者の間で熱っぽく論じられています。「すべての人々を孤立や孤独、排除や摩擦から擁護し、社会の一員として包み支えていく」という考え方、健常者と障害者の「共生」を求める文脈の中で語られているのですが、相手との差異を認め、違いを尊重しあって生きていこうという「共生」の精神は、21世紀の地球を救うキーワードの一つといえます。

だが、現実の世界では「共生」の考え方は対極に位置する人種差別、宗教対立といった「排除」「差別」の論理がまかり通っており、私たちの身の回りでも、排除行動、差別感情は日々生起しています。

私が住んでいる地域ではいま町村合併の論議が重ねられています。どのような組み合わせで合併を進めるかが当面の関心事ですが、ある会合で「文化のちがいを強調するリーダーの意見を聞いて驚きました。「わが町はあなたの町とは文化が違う」と“結婚”を拒否したのですが、町のトップの発言としてはなさない思いがしました。

「共生」の世界を実現させるには、何よりもまず私たちの胸深くに宿している「排除」「差別」の考え方を捨て去らねばなりません。

(N. F)

### 編集後記

厳しい経済環境の中で02年は暮れます。経済天気図は03年も荒れ模様です。会員諸兄弟の健闘を祈るや切です。今号は研修会でのアンケート報告が中心になりました。紙面の充実には会員の参加が大切です。皆様の投稿を待っています。  
(編集委員一同)

## 総務

(転入会員) 中島伸樹(大阪)、恩村政雄(大阪)  
今井俊和(東京)、中村久吉(大阪)  
彼島秀雄(東京)、坂田慎一(東京)

## 研修等

- **経営革新研究会** (診断協会事務所 第二水曜日 18時～)  
9月11日 「創業前後に受けられる支援施策」  
「省エネ共和国」安田徹氏と村上薫氏  
10月9日 「LCAと省力化事例」山本忠幸氏  
11月13日 「商品開発の過去・現在・未来」藤原茂寿氏  
12月11日 「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード」長野哲朗氏
- **IT研究会** <ビジネスプランなど>  
9月4日、10月19日(毎月1回程度開催)
- **診断実務研修会** (診断協会事務所)  
10月26日、11月9日、11月16日の3日間、西河豊、江崎史郎、高木敏次の3先生によって行われた
- **会員研修会** (池坊会館洗心館 6F 四条室町)  
11月22日 「環境問題と経営スタイルの意識調査から」  
講師:辻井 功氏
- **会員交流会** (池坊会館洗心館 6F 四条室町)  
12月8日(日) 15時～17時 会員交流シンポジウム
- **新年懇親会** (ホテルオークス四条通り西洞院西)  
平成15年1月17日(金) 15:30～  
講演:「小さな会社の年俸制の導入」山崎 忠夫氏
- **無料相談会** (京都国際会館)  
平成15年3月11日(火) 10時～17時  
「京都ビジネスパートナー交流2003」に出席  
(主催:京都府・京都産業21)

### 診断京都

No.71

2002年12月1日発行

社団法人中小企業診断協会京都支部

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東  
京都産業会館内

TEL (075) 213 - 7980

FAX (075) 213 - 7981

メール smecakyo@mail.joho-kyoto.or.jp

ホームページ <http://www.joho-kyoto.or.jp/~rmckkyoto>

印刷所 岡本印刷 TEL (075) 344 - 9859

FAX (075) 344 - 9925